



原田 芳男 議員 … 4件 の 一般質問

就学援助費の3月前倒し支給を

町長：実施に向け取り進めていく

原田

就学援助は子育てにとつて非常に重要な制度である。特に入学時や進級の時には、制服など一時的にまとまった経費が掛かる。

今までは、入学、進級の後に申請し支給となっている。3月に前倒して負担軽減はできないか。

文科省からの通達によると地方交付税によって措置されており、町村の裁量で取り扱うことができるとなっている。ぜひ、前倒しで支給できるようにしてもらいたい。

町長

就学援助については、学校教育法の中で、市町村は、経済的理由により就学困難と認められる家庭に対して必要な援助を与えるとしている。

教育委員会が毎年4月に保護者からの申請に基づき認定し支給している。

就学援助費の前倒し支給は、実施に向け教育委員会と連携を取り進めていく。

教育長

本町では、例年6月の支給となっている。

いたが、今後は学校との協議を行い、実施に向け取り組んでいく。

介護保険について

原田

介護保険の改悪で介護保険からはずし、市町村の事業に委ねるとなっている。また、特養の入所についても要支援1と2については原則対象外となっている。利用料の引き上げも実施されている。

今度は、要介護1と2も介護保険から外そうとしています。まさに負担があつてサービスなしである。

町としても国にこのようなことはやめるよう申し入れるとともに、現在介護保険から外されている要支援1と2について手だてを尽くすべきだ。

町長

介護保険の今般の改正は、一つには、在宅医療、介護連携の推進などの地域支援事業の充実と給付・訪問・通所を地域支援事業に移行する。

二つ目に特別養護老人ホームについては、在宅での生活が困難な程度での要介護者を支える。

三つ目に低所得者の保険料軽減を拡充。四つ目に一定以上の所得のある利用者の自己負担を2割に引き上げる。

五つ目に低所得者の施設利用者の食費等の補給付の要件に資産などを追加するとなっている。

いずれにしても、要介護1と2についての次期改正案は、決定事項ではないので、情報の収集及び横の連携を密に必要であれば国に働き掛けていきたいと考えている。

JR新幹線と在来線について

原田

新幹線が新函館北斗駅まで営業運転されている。

但知安に関わる点では、二つのトンネル工事があり、さまざまな課題が提起されている。

①泊原子力発電所で事故が起きた時の防災計画はどのようになっているのか。

②在来線が廃止された場合、外国人旅行者が使う格安の周遊券は使えるのか。

③在来線という枝葉がなくなつて幹だけで大丈夫なのか。

④工事に関わっては、工事車両の運行が非常に多くなる中で相談窓口はどのようになるのか。

町長

①泊原発の関係については、避難方法が多重化するので、新幹線の開業までにJRとも協議し、避難計画に盛り込んでいく。

②外国人向け周遊券だが北海道新幹線も含まれる。

③2次交通の確保は沿線自治体の課題の一つである。協議会などで検討していく。

④工事車両の問題だが、町としても積極的に関わっていく。

観光行政について

原田

①エリアマネジメント条例について再度廃止を求める。

②ひらふスキー場の駐車場などの全体計画はどの

ようになっているのか。

③ひらふにおける町内会活動の進め方について。

町長

④夏の観光のあり方はどう考えているのか。

⑤旭ヶ丘公園における自転車施設の設置について、施工法など問題ないのか。

⑥全体構想は、検討プロジェクトでの議論を踏まえて進める。

⑦国民・町民の財産であることを踏まえて進めていく。

⑧夏の観光については、各事業者関係団体が積極的に取り組んでいる。

⑨旭ヶ丘における自転車のフロートレイル事業に関して、スキー場の運営に支障が生じないように取り進める。